

中川正壽 なかがわ せいじう 歌人。大正二年一月一日岩手縣膽澤郡水澤町生れ、昭和十一年九月二十七日歿（九三三六）。父の轉任に従ひ、甲府、横濱と移住。昭和五年歌誌『アララギ』入會。八年豫科を了し、さへ國學院大學文學部國文科に進む。翌年友人等とドイツ文學誌『花粉』創刊、同誌にロマン・ロレン、トーマス・マン、ゲーテ論等を發表。十年病を獲ると、卒業論文『日本文學に於けるモラリテートの問題』を脱稿。卒業後程なく歿す。

遺歌集『水澤集』（岩沙政一編、昭和十一年十一月二十日中川守昌刊）には、竹尾忠吉、高田浪吉が序文を寄す。鹿兒島壽藏自染紙による装本。

